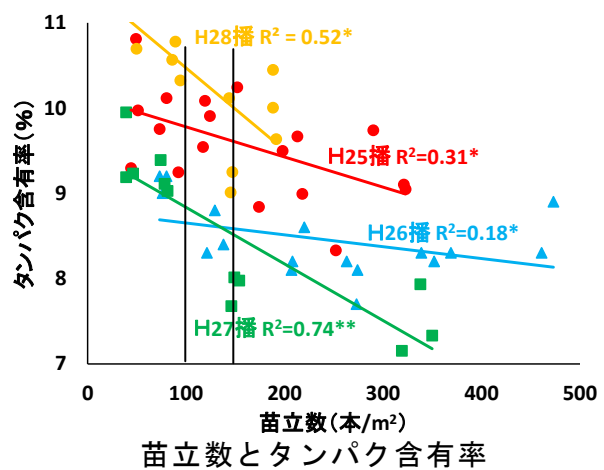
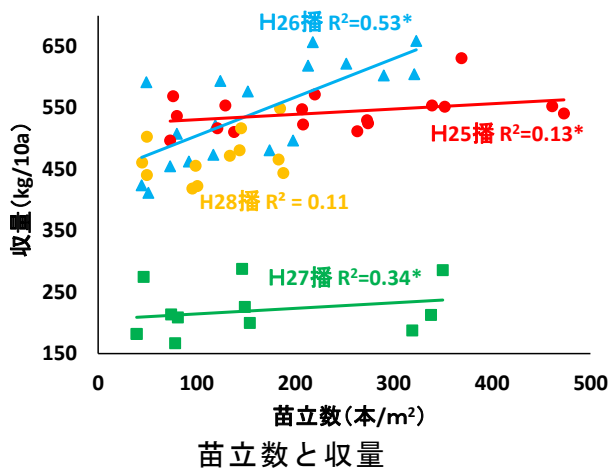


ビール大麦「彩の星」のタンパク含有率 適正化のための苗立数と追肥法

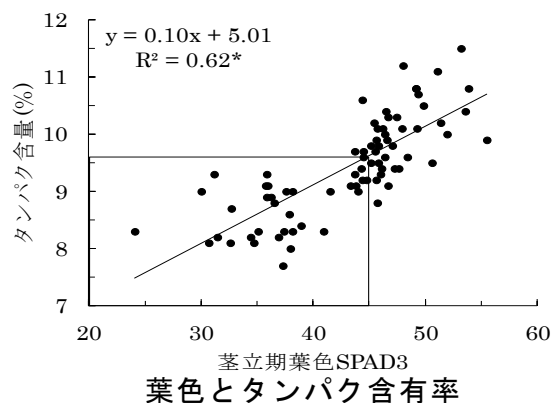
ビール大麦は、おいしいビールを作るため子実のタンパク含有率に目標値(10~11%)が設定されています。そこで、安定的に目標値を達成するための苗立数を明らかにし、追肥法を開発しました。

苗立数は、多いと収穫量は多くなる傾向ですが、タンパク含有率は明らかに低下するので、100~150本/m²が適正です。追肥は、前年までのタンパクが高い場合には2月上旬までに、低い場合は茎立期に、10a当たり2kg(N)を施用します。茎立期の展開第3葉の葉色(SPAD値)が45以下の場合、タンパク含有率は目標値を下回るので、必ず追肥を行います。



追肥時期と効果

追肥時期	収穫量	タンパク含有率
2月上旬	11%増収	効果なし
茎立期 (概ね2月下旬)	18%増収	0.5ポイント向上
出穂期	効果なし	0.5ポイント向上



注) 葉色(SPAD値)はミノルタ葉緑素計 SPAD502Plusを用いて、展開第3葉の葉身中央部を測定した。
*は5%水準で有意。